

野菜

《目指す姿》

生産基盤の強化による力強い産地づくりと市場での確固たる地位の堅持

《取組の指標》

主要10品目の産出額 [令和7年] 1,350億円 [現状] 1,036億円

《主な取組》

【強化品目の産地戦略】 野菜の産出額上位4品目(ねぎ、さつまいも、にんじん、トマト)は、産地間連携を一層強化することにより市場における地位の堅持、産出額のさらなる増加が期待できることから、強化品目として位置づけ、県内統一の産地戦略を示し生産振興を図る。

〔経営規模の拡大による生産量の増加〕

- ・低コスト耐候性ハウス、省力化機械、スマート農業機械等の導入支援
- ・遊休ハウスを有効活用するためのマッチングやリフォーム支援
- ・畑地かんがい施設の活用促進
- ・荒廃農地での露地野菜の生産拡大に必要な機械の導入支援
- ・地域の担い手への農地の集積・集約化 など

〔新産地の育成や新たな担い手の確保による生産量の増加〕

- ・水田転作や水田の畑地化などによる新たな産地の育成
- ・新たに野菜生産に取り組む担い手への技術習得支援

〔広域集出荷貯蔵施設等を核とした産地体制の強化〕

- ・集出荷貯蔵施設の再編整備への支援

〔市場動向を捉えた供給体制の強化〕

- ・出荷規格及び出荷容器の統一による販売ロットの拡大
- ・業務・加工用野菜等での取引の安定化に向けたBtoB推進
- ・卸・仲卸業者と連携した首都圏量販店等でのプロモーション
- ・輸出拡大に向けた相手国のニーズ調査、産地が取り組む商品開発、販路拡大支援

〔野菜価格安定対策事業の活用〕

- ・国や関係機関と連携した野菜価格安定対策事業の活用促進

〔災害に強い産地づくり〕(再掲)

- ・産地ごとの事業継続計画(BCP)の策定支援
- ・ハウス等の施設の補強対策の推進

【強化品目の取組のポイント】

※〈〉書きは令和2年度の全国順位

ねぎ〈2位〉 210億円 (現状 173億円)
さつまいも〈2位〉 230億円 (現状 178億円)
にんじん〈2位〉 150億円 (現状 114億円)
トマト〈5位〉 160億円 (現状 89億円)

- ← 経営規模の拡大や水田の有効活用、新規就農者等確保と定着促進
- ← 定植機・収穫機等の省力化機械や定温貯蔵庫の導入促進と品目転換による新産地の育成
- ← 収穫機や洗浄機等の省力化機械の導入促進と畑地かんがい施設の活用促進
- ← 低コスト耐候性ハウスの新規導入とスマート農業による収量・品質向上

果樹

《目指す姿》

産地計画に基づく園地の若返りや省力化等による生産の安定化・効率化の実現

《取組の指標》

日本なし産出額 [令和7年] 145億円 [現状] 87億円

《主な取組》

〔生産基盤の強化〕

- ・各産地の果樹産地構造改革計画の取組推進
- ・機械化の推進と園地整備
- ・多様な担い手の確保・育成
- ・優良種苗・花粉の安定確保

〔生産の安定・効率化〕

- ・省力化・軽労化技術の導入促進
- ・老木園の改植による優良品種の導入と生産力の安定化
- ・気象災害対策の支援と産地の振興
- ・環境の変化に対応した安定生産対策の推進

〔消費者や実需者のニーズに対応した流通・販売〕

- ・流通、販売業者等と連携した消費拡大
- ・多様な販路の構築に向けた流通対策の推進
- ・経営の多角化に向けた取組の推進
- ・消費者ニーズ等に対応した品目や品種の導入促進



省力樹形 なしジョイント仕立て



びわ低樹高仕立て

花植木

《目指す姿》

高品質・安定生産と販売力強化、需要拡大による産地の強化・発展

《取組の指標》

花き類産出額 [令和7年] 207億円 [現状] 161億円

《主な取組》

〔生産基盤の強化〕

- ・高品質・安定生産の推進
- ・担い手の育成

〔流通・販売対策〕

- ・本県の強みを生かした花きの流通販売体制の強化
- ・マーケット需要に対応した植木産地の強化

〔需要拡大対策〕

- ・県産花植木の需要拡大
- ・花植木の文化の継承・普及



生産者と実需者を結ぶ植木見本園



千葉県フラワーフェスティバル